

【東日本大震災復興支援】
『とどけよう スポーツの力を東北へ!』

第12回全日本ハイシニアソフトボール大会群馬県予選会
実施要項

1. 主催 群馬県ソフトボール協会
2. 後援 太田市、太田市ソフトボール協会
ナガセケンコー(株)・内外ゴム(株)
3. 主管 太田市ソフトボール協会
4. 期日 平成29年8月5日(土)・6日(日) 予備日 8月12日(土)
5. 会場 渡良瀬スポーツ広場
6. 参加資格 平成年度群馬県ソフトボール協会を経由し、(公財)日本ソフトボール協会に「ハイシニア」として登録をしたチームとする。
7. チーム編成 (1)監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手25名以内とする。
(2)チームの中に次の有資格者がいること。
①上級コーチ②コーチ③上級指導者④指導者⑤公認準指導者
8. 表彰 優勝・準優勝・第三位(2チーム)を表彰する。
9. 本大会 優勝チームに第11回ハイシニア大会への出場権を与える。
第12回全日本ハイシニアソフトボール大会 10/7~9
開催地：岩手県花巻市
10. 申込み方法 支部事務局は、メールにて「①参加の有無」、「②参加チーム名」、「③連絡責任者の氏名・④連絡先」を、7月20日(木)までに、太田市ソフトボール協会事務局宛に報告すること。
参加チームは、参加申込書に必要事項を記入し、監督会議の受付に参加料を添えて提出すること。参加申込書は、群馬県ソフトボール協会 HP よりダウンロードできます。
11. 参加料 12,000円 (監督会議時に支払う。)
12. 競技方法 3チームの場合はリーグ戦、2チームおよび4チーム以上の場合はトーナメント戦で行う。
前年度優勝チーム(桐生シニアソフトボールクラブ)、準優勝チーム(倉賀野ソフト)が出場すればシードし、組み合わせの1番(優勝)及び最終番(準優勝)とする。
リーグ戦で3チームが1勝1敗の場合は、①失点率(失点÷守備イニング)の低いチームを優位とする。②失点率が同じ場合は、得点率(得点÷攻撃イニング)の高いチームを優位とする。③失点率、得点率ともに同じ場合は、抽選とする。
13. 競技規則 (公財)日本ソフトボール協会2017年オフィシャルルールに準拠する。
14. 大会試合球 日本ソフトボール協会検定ゴム3号球(ナガセケンコー製)を使用し、チームより試合当日、2個を提出するものとする。尚、試合球は試合終了後に各チームに返却する。
15. 監督会議 1) 日 時/平成29年7月22日(土)午後2時(受付午後1時30分より)
2) 会 場/太田市宝泉行政センター
太田市西野谷町38-2 (TEL:0276-32-2688)
3) 会議に監督が欠席の場合は、責任ある者が監督代行として参加すること。
※ 監督会議に欠席の場合は、不参加とみなします。
16. 開 会 式 1) 太田市宝泉行政センターにて監督会議終了後に行う。
2) 参加者は、監督会議出席者2名でユニフォーム着用のこと。
17. 保 険 参加チームは、スポーツ安全保険に加入のこと。
18. 連 絡 先 ■ 太田市ソフトボール協会 事務局 橋 本 正 治
〒373-0036 太田市矢場新町135-4
電話：0276-46-3891 FAX：0276-46-3891
携帯電話：090-5334-9694
■ 群馬県ソフトボール協会 事務局長 北 澤 篤 久
〒379-2141 前橋市鶴光路町61-5
電話：027-289-5941 FAX：027-289-5942 携帯電話：090-3228-8211

【東日本大震災復興支援】
『とどけよう スポーツの力を東北へ!』

第12回全日本ハイシニアソフトボール大会群馬県予選会
競技細則

1. 競技規則

- ・(公財)日本ソフトボール協会年度オフィシャルルールに準拠する。
- ・登録選手全員の氏名を打順表に記載すること。
- ・コールドゲームの適用(サスペンデッドゲームは採用しない。)
 - ① 3回15点・4回10点・5回以降7点差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。
 - ② 90分または、7回を超えて新しいイニングには入らない。
 - ③ 90分または、7回を超えて同点の場合は、次のイニングよりタイブレーカーを採用する。
 - ④ 投球距離は12.19mとする。(オフィシャルルール)

2. 選手の集合及び打順表の提出

- ・選手は、試合開始予定時刻の30分前または、前試合の4回終了までに、当該球場に集合すること。
- ・試合開始予定時刻の30分前または、前試合の4回終了までに、必要事項を記入した打順表を4部提出すること。
- ・自チームと相手チームの打順表は、審判員及び記録員が確認後に受け取ること。

3. 競技者席(ベンチ)

- ・組み合わせ番号の若いチームを一塁側とし、登録メンバー以外はベンチには入れない。

4. フィールディング

- ・審判員の指示に従い、後攻のチームより5分間とする。
- ・天候等により時間を短縮したり、省略することもある。

5. 競技用具

- ・試合球は(公財)日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球(ナガセケンコー製)としチームより試合当日、2個を提出するものとする。尚、試合球は試合終了後に各チームに返却する。
- ・金属スパイクの使用を禁止する。

6. 攻守・選手の交代

- ・攻守の交代は、敏速に行動すること。
- ・選手の交代は、必ず監督(または監督代行)が速やかに球審に告げること。
- ・特に指示がない場合は、試合球は投手板の近くに置くこと。試合終了時は審判員に渡すこと。

7. スポーツ保険

- ・大会中に発生した傷害等については、チームの責任において対処すること。

8. 荒天時の開催決定と連絡先

- ・大会本部は、会場にラジオを携帯し、雷鳴のノイズキャッチをして細心の警戒をはらう。
- ・雷鳴がかすかでも聞こえたら、直ちに試合を中断し、安全な場所に避難すること。
- ・荒天時の開催確認または、緊急時には各チームの代表者が下記の連絡先へ確認すること。
(大会本部からは連絡をしませんのでご注意ください。)
- ・荒天時の開催決定は、当日の午前7時に決定します。

太田市ソフトボール協会

会 長 山口 強治 携帯 080-6567-4739
事務局 橋本 正治 携帯 090-5334-9694